

【施策評価調書】

施策名	1-5-1	公共下水道汚水管建設	80	政策を推進するには、 ①公衆衛生の向上 ②河川等の水質保全 以上を目標とします。
担当部署	建設産業部 上下水道課	担当 リーダー	建設整備担当 阿久津 幽樹	
環境変化	特になし			公衆衛生の向上と河川等の水質保全に向けて、宝積寺市街地の駅西第一土地区画整理地内及び宝積寺北区の一部に公共下水道の汚水管を整備します。

■指標

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標①:公共下水道汚水管整備計画面積 宝積寺地区(ha)	平成16年度整備済面積 宝積寺地区全面積:438ha 154.8ha	計画 実績	164ha ↑ 183.55ha	166ha ↑ 197.21ha	171ha ↑ 212.51ha	177ha ↑ 223.57ha	190ha
指標②:公共下水道汚水管整備計画面積 仁井田地区(ha)	平成16年度整備済面積 仁井田地区全面積:57ha 49.3ha	計画 実績	51ha ↑ 52.28ha	52ha ↑ 54.28ha	54ha ↑ 57.00ha	57ha	57ha
指標③:		計画 実績					
◆◇ 指標に関する特記事項 ◇◇	整備済累計面積・率(H21年度末) 宝積寺処理区整備率 223.57ha(438ha) 51.04% 仁井田処理区整備率 57.00ha(57ha) 100% (H20整備完了) 合計 280.57ha(495ha) 56.68%						

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	170,930,000	76,000,000	88,200,000	97,700,000	
	決算	212,415,000	227,589,500	160,982,700	80,372,500	

■事務事業事後評価 21年度の検証

施策傘下事務事業	事業費	活動量(アウトプット)	施策への貢献度	施策達成にどう貢献しましたか?(アウトカム)			
①宝積寺処理区管渠建設費	当初 66,500,000	◆汚水管工事延長	A	汚水管を整備することにより、多くの受益者が下水道への接続が可能となり、快適な生活環境づくりと河川等の水質保全が図られた。			
	決算 49,770,000	1,150.52m / 1,300m		今後の方向性(自己評価)	継続	今後の方向性(総合評価)	継続
②宝積寺処理区管渠建設費※繰越明許	当初 31,200,000	◆汚水管工事延長	A	汚水管を整備することにより、多くの受益者が下水道への接続が可能となり、快適な生活環境づくりと河川等の水質保全が図られた。			
	決算 30,602,500	941.20m / 0m		今後の方向性(自己評価)	終了	今後の方向性(総合評価)	終了
③	当初	/					
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
④	当初	/					
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
⑤	当初	/					
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	

■施策事後評価 21年度の検証

	施策達成状況に関する評価	課題と今後の方向性
自己評価	生活排水の処理に支障を来している宝積寺北区を重点的に整備し、公衆衛生の向上が図られた。 関連する上水道配水管布設替工事を同時に実施することで、工事の集中化による時間的コスト・建設コストの低減が図られた。	現在の下水道事業認可区域は、平成22年度末に区画整理地区を除き面的整備が完了するため、駅東幹線流入区域の事業認可を平成22年度中に取得し、引続き宝積寺北区を重点的に面的整備を進める。 なお、下水道の整備は多くの住民からの要望が多いことから、財政計画を勘案し更なる整備区域の拡大を検討する。 整備にあたっては、多くの受益者が下水道を早期に使用できるように計画的に効率よく実施する。
総合評価	継続的に施策展開されていると評価する。 後期計画に向け、財政状況を勘案した整備計画となるが、関連のある他の施策と調整しながら、認可区域拡大も含め、優先順位を決めて施策展開すること。	